

Disaster prevention + Sightseeing

# 防災観光受け入れに役立つ情報

諸外国から防災観光の旅行客を迎えるため、  
また訪れたお客様の防災観光を有意義なものにするために、サポートのしくみを整えています。  
どうぞご利用ください。

## 細かいニーズにマッチングするための防災観光プログラムのメニュー化

これまで行っていた各地域の防災観光プログラムは、実は教えられる内容のほんの一部しかありませんでした。それは、旅行者のニーズがわからず一辺倒の内容と受け取られることもありました。  
そこで、防災専門家が監修した防災観光プログラムのメニューを作成しました。防災観光プログラムのメニューは、防災観光プログラムを提供している団体から情報をいただき、その情報をもとに防災専門家がプログラムひとつひとつを学びの観点で体系化したものとなります。本メニューを利用することで、防災観光の旅行客のニーズに合わせた防災観光プログラムを選ぶことができます。

学習テーマ	学習テーマの細分化
歴史・震災状況を知る	地震災害の歴史、被害の状況
防災知識や技術を習得する	防災知識、防災訓練、避難、避難所、ボランティア
震災時の連携を学ぶ	広域・県市町村連携、県市町村の災害対応など
防災まちづくりを学ぶ	地盤対策、津波対策、防災施設、インフラ、ライフライン、備蓄、物資、燃料、孤立対策など
公的機関の役割を学ぶ	自衛隊、消防、警察、気象庁、医療
地域コミュニティの重要性を学ぶ	自主防災組織、消防団、要配慮者、社会福祉、生活
産業や暮らしの復興を学ぶ	生活、暮らし、産業、雇用

## 専門用語をわかりやすく多言語で説明する防災用語集

防災観光に多く用いられる用語について、文化の異なる諸外国の方向けのわかりやすい解説例文を英語・中国語(繁体字)で作成しました。受け入れ団体の理解促進や通訳ガイドの負担軽減、旅行者の事前学習などに活用ください。

下記のホームページからダウンロードできます。  
<http://dpl-tourism.in.arena.ne.jp/>



避難場所(ひなばしよ)	
英語:evacuation sites	繁体語:避難場所
日本語例文	避難場所とは、災害等で危険が迫った時に一時的に避難する公園、施設である。大きさによって2つに分けられる。①一時避難場所 ②広域避難場所である。各自自治体で指定されているが、自治体によって多少異なる。
英語例文	Evacuation site: general term for a place or facility where people take refuge when conditions are considered dangerous. There are two categories: temporary and regional. Those evacuation sites are designated by every municipality, and the criteria for categorizing them may vary.
中国語(繁体字)例文	避難場所是指當自然或人為災害發生時，暫時用於避難的公園和設施。按照大小可分為兩種：①暫時避難場所和 ②廣域避難場所。避難場所由各自治體進行安排，每個都多少有些不同。

東日本大震災の後、語り部など貴重な体験を伝えるコンテンツは数多くあります。これまで整理がなされていなかったり、学べる内容についての情報が詳しく伝えられていなかったこれらの防災観光コンテンツについて、東北大学災害科学国際研究所では、詳細をリスト化しメニューとして情報提供することで、教訓を学ぶ機会を広く提供していきます。また防災先進国である日本の知識や知恵を諸外国のかたへ伝えるために役立つ、日本と諸外国との防災文化の違いに関する情報やそれを補うツールなども発信していきます。

発行・事業主体 東北大学 災害科学国際研究所  
東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」  
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1  
TEL:022-752-2099 <http://irides.tohoku.ac.jp/>



東北ならではの魅力と学びで、海外の方をお迎えする

# 防災 + 観光

Disaster prevention + Sightseeing

東北は、その自然豊かな観光資源や魅力的なグルメに加えて、  
防災を“学べる”豊富な体験があります。  
震災を乗り越えた東北各地の経験・教訓を世界に伝えるためにも、  
皆さんとともに防災観光へ取り組んでいきます。

東北大学 災害科学国際研究所  
東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」

本紙は、以下の事業助成で作成されたものです。  
平成28年度「新しい東北」交流拡大モデル事業官民共同プロジェクト(交流促進型)  
諸外国文化に対応した東北災害・防災文化観光ツーリズム促進事業

# なぜ、[防災] + [観光]？

## これも防災プログラムになるの？



### 防災観光プログラムのメニュー化

普段の暮らしなども含め、それぞれの地域や分野に震災を乗り越えてきた知恵と工夫、教訓がちりばめられています。それをわかりやすくメニュー化することで、参加する方が自分に必要なプログラムを選ぶことができるようになります。



### たとえば、こんなツアー

東北に住む留学生と一緒に、[防災]と[観光]を組み合わせたモニターツアーを実施しました。

**1日目**

津波被害からの農地再建講和

地元の食文化を取り入れた食事

コミュニティ形成講義・住民との交流

地元素材を使った食事

津波被害からの農業運営再開、もしものときどうするかを考えるクロスロードゲームをはさんだ避難後のコミュニティ形成といった被災後の工夫と苦労についての講和を聞き、地元住民の皆さんと交流することによって、生きた防災知識を得ることが出来る。

### 参加した留学生の感想

語り部の話、地元の人との交流、体験、観光、地元食材の料理など防災と観光のすべてが含まれたプログラムが良かった。

- どのプログラムも楽しく、もっと被災地の声を知りたい、もっと被災地について調べたいと感じた。
- 被災者から聞く体験は、どんな防災マニュアルを読むよりも記憶に残る。
- 予想よりも大きな復興計画が進んでいること、復興をビジネスに結びつけるという考えはとても驚きだった。



## 海外の方へ、「嵩上げ」をどう伝える？



### 諸外国の文化理解、英語等での防災用語集

外国からの旅行者は、言葉の壁や文化背景が異なることなどにより、プログラム内容をそのまま伝えても理解できないことがあります。諸外国の文化を理解し、英語や他の言語でも防災用語をわかりやすく伝えるほか、それぞれが旅行者からの意見を取り入れて改善していくことで、疑問を解消していくことが可能になります。



日本の建物は地震に耐えられる？

どの程度の地震なら避難すべき？

避難するかどうか、何を見て判断するの？

避難でパニックにならない？

なぜ毛布を備蓄する？

日本ではコミュニティ形成が難しい？

保存食って？

**2日目**

伝承館見学

復活した養殖漁業見学

ホタテバーベキュー

平泉・中尊寺観光

被災から復活したホタテ養殖業を船に乗って見学し、新鮮なホタテを自分で調理し食べながら、湾内の瓦礫を撤去するダイバーと漁師との絆を知る。伝承館では大工による伝統的な日本家屋が震災に強い理由を学び、平泉での観光も行う。



### 明らかになった課題

- ☑ ことばの問題。多言語化への対応を希望する。
- ☑ 震災の状況を想像しやすいように、動画や写真がある資料館や記念館などを活用したほうがよい。
- ☑ 日本語をあまり理解できない場合、視察や体験を盛り込むと充実したツアーになる。
- ☑ 長い時間集中して話を聞いたり、正座での講演や食事は難しい。